

* 研究授業からの学び *

No.11

文責 伊与田

令和元年 12月3日 (火)

第6学年 国語科

白石 光 教諭

単元名 「伝えたい！知ってほしい！私たちの平和への思い」(全13時間)

教材名 「町の幸福論－コミュニティデザインを考える」 東京書籍 6年

<育てたい資質・能力>

- 目的や意図を応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉書いて話せる力【話すこと(1) イ】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすることができる力【読むこと(1) ウ】
- 話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる力【伝国イア】
- 複数の書類を多角的・多面的に分析し、自分の考えにより説得力を持たせる資料を選び出す力【情報活用能力】

<この単元で働きかせたい見方・考え方>

自分たちのプレゼンテーションが相手を説得するものになっているかどうか、という観点で表現の工夫（言葉・構成・資料）を吟味する。

本単元では、総合的な学習の時間に学習している平和学習を活かし、自分達の平和への思いを5年生にプレゼンテーションで伝えることを学習のゴールに進めていきました。本時（10/13）では、5年生の心を動かせるような説明ができるかグループに分かれて発表し、アドバイスし合いました。

本時の目標

○3つの観点に着目し、プレゼンテーションの内容を改善することができる。

本時の評価規準

【話】改善点を基に、話の構成や表現の仕方、資料の示し方などを工夫しながら話している。



本時の授業風景



研究協議より（抜粋）

授業者より

- 総合的な学習の時間の平和学習とからめ、子ども達の思いを優先させながら繋げてきた。子ども達は、自分たちが考えてきたことを伝えるためにはプレゼンテーションがいいと決め、これまで主体的にできていた。
- 既習事項をもとに子ども達がねりあげてきて、今日はじめて別グループに発表した。
- 伝えたい対象は、5年生で、どんな行動を起こしてほしいかも子ども達が決めた。
- プレゼンを構成するに当たっては、「話の構成」「資料の活用」「言葉の工夫」に気を付けさせてきた。
- アドバイスし合うにあたって、A評価の子ども達は、色々指摘できたが、課題のある子ども達は、言葉の工夫等についての指摘がほとんどだった。肯定的な捉えが多く、高得点をつけていて、アドバイスに難しさがあった。

参観者より

- 子ども達が、3観点を捉えて意欲的にできていた。
- 質問のさせ方を工夫することで、より内容を深めるためのアドバイスができるのではないか。
- 主張と事例のつながりがない児童がいた。また、事例から伝えたい思いが弱かった。
- 聞く側に3観点をどう意識させ、どのようにアドバイスさせるか。
 - 聞く観点とアドバイスの観点を一致させる
- 平和に対する思いをもっと意識させると、内容が変わっていくのではないか。
- 最後にもらったアドバイスの交流をしていたが、中間評価でできていればもっと深まっていたのではないか。
- 聞き合いの1時間なので、更によい内容になっていくと思う。

指導主事より

- 相手がどのように反応してほしいかまで予想し、初めは、「5年生がこわいと思ってほしい。」だけだったが、それだけでなく「5年生が自分から調べに行く。周りの人に自分から伝えに行く。」という設定となった。
- 情報活用は、西土佐小の重点。子どもたちが、欲しがって情報を取りにいかないと意味はない。子どもたちが困って、こんな物が欲しいと思ってとりにいくようにした。
- 授業の終わりの方で、担任は教科書「町の幸福論」にもう一度かえらそうとしていたが、それは、前の時間、「私たちの主張はインパクトがない」と課題が見つかり、教科書の書き方を参考にしたいということが子ども達から出ていたからだと思う。
- 今後の授業に向けて、本当に自分達が言いたいことは何か、それを強めるための資料、言葉になっているか考えさせたい。
- 説得力を持たすためのポイントとして①主張と、理由、根拠を明確にする。(数やデーターが入ると納得する。) ② こないいことがあるよ。 ③自分の行動を示す。(自分だったらどうする) ④反論を用意する。
- この単元を活かし、プレゼンを3回(5年生→西土佐小全児童→四万十市での研究発表会)行うことでプレゼンする力が高まってくる。また総合と繋げていること、子どもたちの伝えたいことをプレゼンで作っている。素晴らしい单元づくりとなっている。

授業者のリフレクションより

- 主体的に学習に取り組む姿勢を持たせるためには、課題意識や目的意識を常に持たせることが大切だと改めて実感した。その主体性が情報収集や分析、内容の推敲をする必然性につながっていくので、今後も課題意識を持たせることを続けたい。また、今回の学習は説得力を持たせる要素が既習事項に多々含まれており、日ごろから既習を意識させることや学習の系統性が重要だと感じた。

☆研究授業から見えてきたこと☆

- *課題設定
- *目的・相手意識
- *学習の系統性
- *既習の活用

学習の系統性を大事に、それぞれの学年で必要な力を確実に身に付けさせて、次の学年で活用していくようにしましょう！